

時の動き

尾澤裁判勝利に向け、ご協力を！

尾澤孝司さんを支える会

尾澤 邦子

韓国サンケン闘争終結

7月6日、韓国サンケン労組は7月24日間の闘いに終止符を打ちました。埼玉県新座市にあるサンケン電気が、一昨年7月に一方的に韓国サンケンの廃業・全員解雇を発表し、労組は解雇撤回を求めて闘ってきました。馬山マサンの工場は閉鎖・売却され、労組はソウルにあるサンケン電気の営業所、サンケンコリアの前にもテントを張り、籠城して話し合いを求めてきました。

6月22日からは命を懸けた無期限のハンガーストライキで闘いました。ハンスト14日目の7月5日、それま

で一度も話し合いに応じなかったサンケン電気を話し合いに応じさせ、労使合意を勝ち取り、闘争は終結しました。

合意内容は非公開ということですが、労組のオ・ヘジン支会長は「日本をバックにした強大な資本と12人の組合員が競り合って闘い、決して勝利とは言えずとも敗北とは絶対と言いうことのできない高貴な闘いの成果を残しました」と話しています。そして「700日以上長い時間をかけて育てた国際連帯をどのように継承し発展させるか模索しています。韓日の国際連帯運動の歴史にこれまで見なかった事例を作った今回の闘いを踏まえ、韓国サンケ

ン労働者は今後も韓日の労働者・民衆の連帯をさらに一層強化する闘いを準備していると思います」と決意しています。

日韓労働者・市民の連帯で

尾澤裁判の勝利を勝ち取ろう！

「韓国サンケン労組を支援する会」の尾澤孝司さんは、昨年5月10日、サンケン電気本社前で逮捕されました。尾澤さんは、韓国サンケンの工場がある慶尚南道キョンサングドの地方労働委員会から出された「労使で話し合うように」という勧告をサンケン電気に伝えようとして、



2022年葛飾憲法の集いでアピールする尾澤孝司さん

責任ある人との面会を求めました。問答無用で押し返す警備員と対峙しましたが、サンケン電気の社員により「ケ

ンカ」と通報され、駆け付けた新座警察署員に逮捕されました。「暴行」容疑で、そして警備員の業務を妨害したと「威力業務妨害」を加えて起訴され、7カ月半も勾留されました。けが人のいない「暴行」事件で、7カ月半も勾留するなんて、ありえませぬ。日韓労働者・市民の連帯した資本への抗議活動弾圧としか考えられませぬ。

裁判は、「公判前整理手続き」という、傍聴者のいない裁判のようなかたちで、裁判の自身が決められています。弁護側は、なぜ尾澤さんがサンケン電気の前に立ったのかを立証するために、韓国サンケン労組のキム・ウニョン副支会長と中小労組政策ネットワークの鳥井一平さん、そして逮捕当日、現場の責任者で「ケンカ」と新座警察に通報したサンケン電気の社員を証人として申請しています。検察側は拒否していますが、次回9月27日の「公判前

整理手続き」で証人として採用するかどうかが決まります。

公判は、11月9日から決まりました。11月9日、11日、22日、30日と、4回入っています。その後は来年の1月、2月になるようです。9日の初公判では、尾澤さんと弁護人の意見陳述が予定されています。ぜひ多くの方に来ていただきたいと思っています。

裁判所に対し、公正な「無罪判決」を求める署名運動を行っています。11月9日に提出予定です。地元「尾澤孝司さんを支える会」が進めてきましたが、「韓国サンケン労組を支援する会」も労組を中心にお願いに回る予定です。ご協力をお願いいたします。

チエンジオルグ署名サイト

<https://ching.it.phktqwwb>

(おざわ くにこ)